

はじめよう。写真撮影

基礎編

基礎編では写真撮影の際によくあるトラブルとその解決法について紹介します。

写真がブレる!

写真がぼけてしまうのは、大きく分けて「カメラがブレる」と「被写体がブレる」場合があります。カメラがブレる場合は三脚を使えば解決しますが、価格が高く荷物もかさばるので、いつも持ち歩くわけにはいきません。



手ブレしにくいようにカメラを構えましょう。

これで解決!

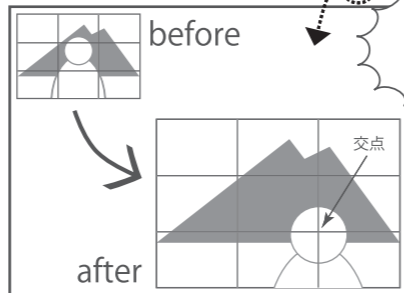
シャッターは静かに押す

脇は閉める

足は肩幅に開く

構図が決まらない!

カメラ初心者は被写体を画面の中心にして撮影しがちです。バランスは良く安定感がありますが、この構図では面白みのある写真はなかなか撮れません。また被写体によって、画面を中央で二分割する構図は、視線がさまようので落ち着かない印象を与えてしまいます。



これで解決!

簡単にできる方法に、「三分割法」があります。画面を縦横に三分割し、その交点に被写体を置いてみましょう。

色がおかしい!

人間の目には白っぽい色はすべて「白」と認識されます。しかし、カメラのレンズを通すと本来の色が写るので、蛍光灯や太陽光の影響で「白」が青みがかった白色になったり赤みがかった白色になったりします。

白色のなかま

快晴の空
日陰
屋光色
蛍光灯
くもり
ストロボ光
太陽光
屋白色
蛍光灯
白色
蛍光灯
白熱灯
ろうソクの炎

←赤っぽい 青っぽい→

これで解決!

ホワイトバランスという機能を使用しましょう。基本的には「オート」で十分ですが、うまく調節できないときは「太陽光」や「くもり」など、状況に合わせて選択しましょう。

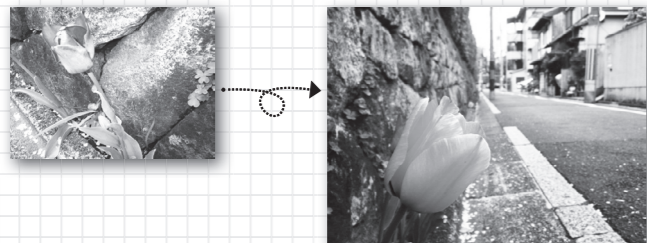
撮影テクニック Q&A

- Q. フラッシュはどのくらい届くの?
A. 通常のコンパクトデジタルカメラではフラッシュの効果は2~5mです。それ以上遠くの被写体には効果が薄いので、範囲内に被写体があるときだけ使用しましょう。
- Q. 構図の原則って他に?
A. 基本的に、画面に映っているものを減らすと、写真が洗練された印象になります。邪魔なものは人物や建物の陰に隠してしまいましょう。
- Q. ISO感度ってなに?
A. ISO感度とはカメラが受け入れる光の量のことです。基準値の100より高くするとシャッタースピードが速くなり、ブレにくくなります。ただし高すぎると画像が粗くなるので、適度に調節しましょう。
- Q. 料理をおいしそうに撮るコツは?
A. 料理を撮影するときは、普段食べるときより食器を近づけましょう。斜めに撮るとプロが撮るような写真になります。また、逆光で撮ると料理に光が反射しておいしそうに見えます。

実践編

実践編では被写体ごとの撮影のコツを紹介します。

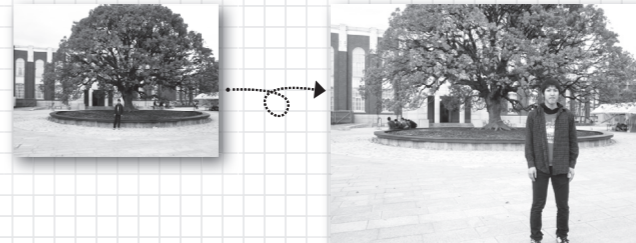
花を撮ってみよう!



撮影のコツ

1. 傷んでいる花、枯れている花は避けましょう。
2. 構図を考えましょう。花が開いている方の空間を広くとると、空間に広がりを持たせることができます。
3. ホワイトバランスは「オート」、天候によって「太陽光」や「くもり」などにしましょう。
4. マクロモード(チューリップのアイコン)がある場合は使用しましょう。
5. 自分の影が花にかからないように注意しましょう。

人物を撮ってみよう!



撮影のコツ

1. フラッシュを使用すると不自然な写真になりがちなので、なるべく使わないようにしましょう。露出補正(プラスとマイナスのアイコン)の機能がある場合は使用し、明るさを調節できます。
2. カメラを少し低く構えると、頭が小さく、足が長く写ります。
3. 背景も写したい場合はなるべく手前に立ってもらいましょう。注意しないと人物が小さく写ってしまいます。

はみだし
すてーじ

もし高校野球の女子マネージャーが京都大学の『らいふすてーじ』を読んだら
⇒読者カードでこの記事の評価を◎にして投稿してくれるはず

(理・3 yutaka)
『らいふすてーじ』をマネジメント;編

はみだし
すてーじ

入試を受けにくる高校生がういういすぎる。
⇒授業を受けにくる新入生がういういすぎる。

(薬・2 Caltan!!)
(そんな時代もありましたね;編)